

中国の若い女性たちの結婚観

— 経済条件重視を中心に —

HUO Yujia

本研究の背景：

①近年、中国も日本と同じ、結婚をめぐる問題が生じ、社会から注目を集めている。「結婚難」、「不結婚」、「晩婚晩育」などの問題は、話題として頻繁に新聞に報道され、世間から注目されている。

②インターネットや生活の多様化により、結婚というプライベートの話も、SNS、ウェブサイトなどを通じて、簡単に他人と共有、議論できるようになっている。結婚問題が相次いで現れると同時に、インターネットなどのメディアを通じ、より幅広い範囲に広げられ、社会問題となり、注目を集めている。

③メディアは中国の若い女性たちが結婚相手の経済条件を重視する、さらに拝金主義に陥っていると指摘し、報道している。

問題意識：

中国の若い女性たちは経済条件を重視する結婚観があるとメディアに報道され、社会的には批判的に見られている。しかし、女性たちはなぜ結婚相手を選ぶ時に経済条件を重視するのか、経済条件を重視すれば「拝金主義」と名付けてもいいのかを考える必要がある。若い女性たちの結婚観をよく分析する必要がある。確かに、非現実的な経済条件を求めるならば、これは拝金主義・拝金女と言われても仕方がない。しかし、他方では経済条件を重視すれば、すなわち拝金主義・拝金女とは限らないだろうか。一定の経済条件を重視せざるをえない現実的な側面があるだろうか。

本研究の目的：

本研究は、中国の若い女性たちの経済条件を重視する結婚観について研究を行った。下記のような視点で論じている。拝金主義・拝金女は確かに存在している。経済条件を

重視するならば、すなわち拝金主義・拝金女にはならない。本研究は、経済条件を重視する各パターンを詳細に分析し、その特徴や社会的な背景を明らかにすると同時に、経済条件重視はイコール拝金主義・拝金女であるかどうかを明らかにしていく。

本研究の研究手法：

既存統計データの分析および事例分析の研究手法を用いて研究していく。

データ分析では、2009～2014年の大手婚姻恋愛サイトの調査データを用い、経済条件を重視する結婚観を分析する。求めている詳細な経済条件、両親による影響、結婚観の変遷などを明らかにしていく。

事例分析では、複数の事例を取り上げ、経済条件を重視するいくつかのグループに分類して分析を行い、現状を明らかにする。

第一章 先行研究

経済条件を重視する結婚観については、優れた研究を取り上げ、紹介した。たとえば、清水は中国の結婚は拝金主義に陥り、愛情よりも経済力を優先する風潮が強まり、若い女性が生活向上のための手段としていると指摘している。近藤は、「結婚相手を選ぶ際に能力・経済力などを重視する傾向も強く、結婚してからの生活レベルなどを考慮する程度も大きいと言える」と論じている。

先行研究不足点：結婚観に関する先行研究では、女性たちは経済力を重視することを指摘している。しかし、具体的に、どのへんを重視しているのか、どこまでの程度なのか、経済力重視すなわち拝金主義なのか、経済力重視の社会的な背景などについて、あまり深く掘り下げていないのではないだろうか。

第二章 経済条件重視の結婚観—2009～2014年の統計データを中心に—

第二章では、代表的な婚姻恋愛サイト「百合網」の2009～2014年の調査データ、「世紀佳縁」の2012～2013年の調査データを用いて、分析を行った。結婚相手を選ぶ時に、経済力を重視するかしないか、どんな経済力を重視するか、どの程度重視するかについて、統計データを用いて明らかにした。また、経済条件を重視する結婚観の変遷も紹介した。

第三章 事例から見た経済条件重視の結婚観

第三章では、非現実的な経済力を望む事例、現実的な経済力を求める事例、経済力を重視しない事例を取りあげて分析を行った。分析の結果としては、女性たちは経済条件について、考え方が多様である。盲目的で、非現実的に経済力を求め、現実としてほぼ不可能な基準を持っている女性たちは、「拝金女」と言われても仕方がない。

将来の生活などのために、一定的な経済力を求めるのは合理的な要求であると思う。

このような女性たちに対して、「拝金主義」と非難されるのは不適切である。

第四章 経済条件重視結婚観の社会的背景

本章では、女性たちの経済条件重視結婚観に関して、なぜ経済条件を重視するのか、なぜ拝金主義と呼ばれるようになったのか、これらの問題の社会的な背景について考察していた。主に、拝金主義価値観、メディア、現実の生活から来ている要求、女性の社会的地位や意識の変化の4つの方面から考察していた。

結論：

本研究は、中国の若い女性たちの経済条件重視の結婚観について、既存統計データや事例分析の研究手法を用いて考察した。これらの考察を通じて、およそ以下のような点がまとめられている。

①中国の若い女性たちは結婚相手の経済条件を重視している。経済条件は結婚における決定的な要素ではなく、重要な参考要素となっている。

②経済条件を重視するにおいては、金、家、車が最重要の項目となる。金と家に対する重視度が非常に高い。車の重視度が比較的に低い。

③女性たちの経済条件重視結婚観は、女性たち自身の意思以外に、両親の意思や伝統的な風習も女性たちに影響を与えている。経済条件を求めるのは古くから存在している。また、親と娘は経済条件を重視する点においては、意見がほぼ一致している。

④女性たちは経済条件について、考え方が多様である。経済条件において、非現実的な考え方もあり、現実的な考え方もあり、必要ではない考え方もある。すべての女性は経済条件を追求するわけではない。経済条件を重視しても、重視度の差がある。

⑤盲目的で、非現実的に経済力を求め、現実としてほぼ不可能な基準を持っている女性たちは、「拝金女」と言われても仕方がない。将来の生活などのために、一定的な経済力を求めるのは合理的な要求であると思う。このような女性たちに対して、「拝金主義」と非難されるのは不適切である。

また、社会的な背景の視点から、女性たちの経済条件重視の結婚観について、分析、考察を行った。この考察により、およそ次のような点が明らかになった。

①女性たちの経済条件重視の結婚観は、拝金主義価値観が影響している。多くの中国人はますます「金銭万能」を信じ、拝金主義価値観を持つようになっている。しかし、拝金問題を批判するならば、女性の拝金主義だけを批判するのが不適切であり、社会全体

の拝金主義を批判しなければならない。

② 拝金主義の形成は、メディアによる影響が大きい。メディアは女性たちの拝金主義を批判しながらも、一方、拝金主義価値観を煽る番組や報道を多く行っている。メディアは決して客観的な視点から女性の結婚事情を報道していない。

③ 現実の生活の視点から見れば、女性たちは結婚相手に対して経済条件を要求することは合理性がある。このような要求は、生活していくために不可欠である。経済条件を重視することは決してイコール拝金主義ではない。経済条件を求める合理性があっても、現実としては男性側に負担をかけ、拝金主義として見られる可能性がある。

④ 女性たちの地位および意識の変化により、結婚に対する考え方も多様になっている。結婚は女性にとっては不平等なものであると感じる女性もいる。彼女たちは、経済条件に対する要求を、家庭のための犠牲の報償、将来万が一の離婚時の保証として考えている。また、伝統的な結婚観を持っている女性もいる。彼女たちは伝統的な結婚風習により、相手に一定的な経済条件を出させることは普通であると考えている。

以上の結論から分かるように、本論は女性たちの経済条件重視結婚観のパターンや特徴、社会的な背景、経済条件重視イコール拝金主義・拝金女ではない点を明らかにした。